

わたしたちの 働きかた 2018

働き方改革通信
平成30年8月2日

発行：長野県教育委員会
(義務教育課)

定位置にいつもある 専科のいない理科室で

下伊那のある小学校で、理科室を見せていただきびっくりしました。わかりやすく工夫された収納をご紹介します。

実験器具や観察の道具を短い時間で準備しやすいように、それぞれの器具が

“定位置”にきちんと整理 されています。

使った後、定位置に戻している心遣いの現れです。また、

1つの器具につき1つのカゴ (またはコンテナケース)

が整然と並び、棚には、「温度計」「ピーカー」のように、

統一感のある大きな表示 がされていました。

「すべて係の先生の工夫によるもの。その先生が転勤された後も、こうして維持されているのです。初めてその単元を扱う先生もいるので、とても助かっています。効率よく準備しようとする雰囲気が出ていて感じています。」と校長先生。

本校は理科専科の先生がいないため、学級担任の先生が理科の授業も担当しています。必要な物が大きく見やすい表示で“定位置”に整理されていることで、探す時間が縮減され、先生方の働きやすさを生み出しています。



よく見ると、“単元名”の表示もあり、その単元で必要な器具類をひとまとめにして置かれていました。担任の先生が準備するとき助けになりますね。係の先生による、探す人の身に立ったやさしい気配り。



おしらせ

- 「見える化 やってみました。好評です。」とのうれしいメッセージを、事務の先生からいただきました。
- この通信が、県教育委員会のホームページに掲載されることになりました。トップページの「教職員情報」から「働き方改革」を選んでいただくと、バックナンバーがご覧になれます。



7月4日発行の本紙で「学校閉庁日

夏休み平均で3.8日」とお知らせしましたが、その後、何校かの訂正があり、現時点で**平均3.98日**となりました。この場をお借りしてお知らせいたします。今後も、働き方にかかわる情報を、ぜひお寄せください。⇒ gimukyo@pref.nagano.lg.jp (カイカク係あて受付中)